

令和8年度の主な施策について

こども分科会

(1) 保育ビジョン推進支援事業

継続

【事業の目的】

「子どもは無限の可能性をもつ豊かな存在」という子ども観をもとに、保育実践を継続。加賀の歴史・文化・産業等の地域資源や住民との連携を一層強化し、「地域の再発見」へと繋がる探究活動をにより「(仮称)加賀市アプローチ」を推進する。これまでの伴走支援を基盤に、自走体制への切り替えを推進する。

<令和7年度>

〈委託内容〉

- ・保育伴走支援
月1回12ヶ月 内4回は重点支援(4泊5日)
実践成果とりまとめ支援
- ・人材育成研修
往還型研修
加賀市版アカデミー研修
ドキュメンテーション研修
専門人材育成研修(上級編)4名受講
- ・幼保小モデルの構築
- ・こどもと共に歩むまちづくりビジョン
(ver.1)策定
- ・広報活動の推進

<令和8年度>

〈委託内容〉

- ・保育伴走支援
月1回9ヶ月現地伴走、オンライン支援
実践成果とりまとめ支援
- ・人材育成研修
ドキュメンテーション研修
アトリエワークショップ 運営支援

〈自走体制〉

- ・加賀市保育ビジョン2027-2029 策定
- ・幼保小連携体制の深化
- ・「こどもと共にひらくまちづくり」推進
- ・広報活動の推進



(2) 「こどもと共にひらくまちづくり」推進

継続

【事業の目的】

こども基本法・こども大綱が掲げる「こどもを権利の主体として尊重する」という考え方を踏まえ、こどもを一市民、そして地域社会を「共につくる」存在として位置づけ、こどもをまんなかに世代を超えて互いに学び合う文化が豊かなまちづくりを目指す。

【事業の概要】

誰もが「住み続けたい」と思える魅力ある加賀市を目指し、「こどもと共に」のアクションを広げるための活動を推進する。

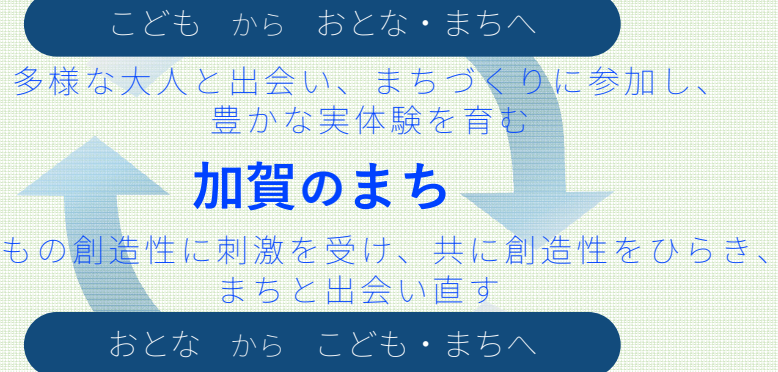
【2026年～2027年】

こどもの興味・関心に沿った活動が充実するよう、庁内での土台づくり(関係機関・団体等とのつながりを耕す)を進める。

「こどもと共に」を実践している市民のエピソードを発信する。

【2028年～2029年】

これまでのつながりをさらに発展させ、連携体制の仕組みづくり(関係機関・団体等との協働)を行う。情報発信や対話の場づくりを継続し、アクションの実施・発信・効果検証を行う。



こどもと共にひらくまちづくりは、加賀市こども計画の基本目標を実現するための行動計画として位置づけ、学校教育ビジョン「BE THE PLAYER」と連動して取り組みを進めていきます。

(1) 児童センター運営事業

【事業の目的】

『こどもまんなか社会』の実現に向け、こどもたちが安心して過ごせる居場所として活用をすすめ、こどもが自由に学んだり遊んだりできる活動の場を提供し、地域のみんなでこどもたちの健やかな成長を支える。また、妊産婦や子育て世帯、こどもたちが気軽に相談できる身近な相談窓口である、地域子育て相談機関の相談機能の充実を図る。

【児童センターの機能】

- 地域のこどもの居場所
- 地域の子育てサークルの拠点
- 子育て寄り添いおむつ事業の支援員の拠点
- サテライトスクールとして整備(不登校児童の居場所)
- 地域子育て相談機関(R7.5~6か所に設置)

【取り組み】

○スキルアップ研修会(市・県主催)

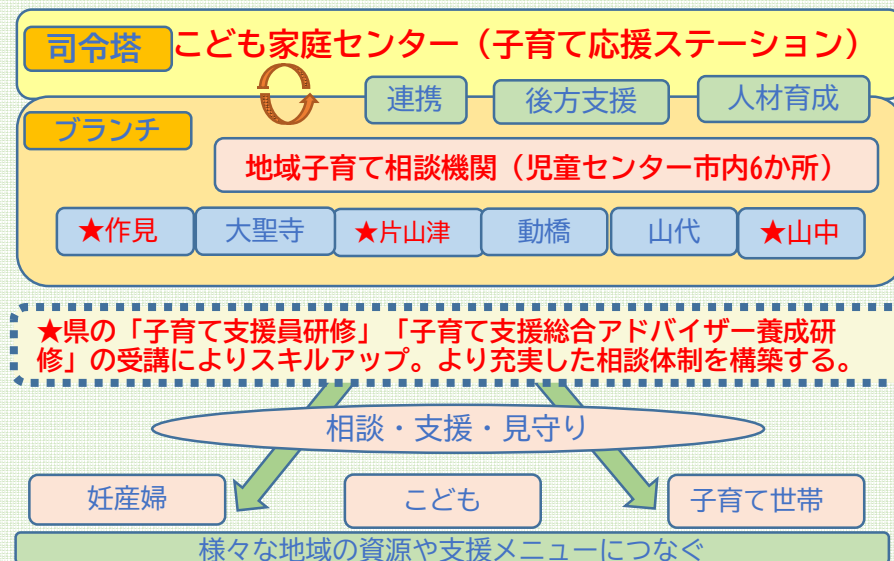
児童センター職員や子育て寄り添いおむつ事業支援員の相談対応のスキルアップや関係機関との連携に関する研修の参加をすすめ、子育て応援ステーションと連携した支援の充実を図ることで、地域における子育て支援や相談支援などを支える環境づくりを進める。

○遊び場・居場所としての活用と周知

各児童センターの地域活動や自主事業についてSNSや広報を活用した周知を図り、場の提供として児童センターの活用をすすめる。

(2) 地域子育て相談機関

妊産婦、子育て世帯、こども等が気軽に相談できる身近な相談窓口として、相談対応、情報提供、関係機関との連絡調整を行うほか、子育て応援ステーションとも連携した支援を行う。



ライフデザイン（プレコンセプションケア）推進事業

継続

【事業の目的】

若者世代が将来のライフデザイン（人生設計）に資する視点を持ち、男女問わず自分の身体に関心を持ち、将来、希望する方が、安心安全で健やかな妊娠出産に備えた健康管理に取り組むプレコンセプションケアを普及する。

【事業の概要】

- 地域の助産師等によるライフデザインセミナー
高校生向けライフデザインセミナー 8回
- 助産師やコーディネーターによる周知啓発
健康フェスタ等による周知啓発
- 子どもの命を大切にする周知啓発事業
小学校への助産師派遣講座 10回

対象者層

基礎疾患がある妊産婦
や妊娠を希望する方

将来の妊娠・出産や
ライフデザインに関
心がある若年世代

行政機関、保健医
療機関、企業人事
部門、学校関係者
など広範な人々

プレコンセプションケア推進事業

専門的な相談支援体制の強化

- ・いしかわ妊娠相談ダイヤルの周知・啓発
- ・いしかわプレ妊活健診事業の周知・啓発

医療機関での相談支援の推進

プレコンセプションケア検査

「プレコンケア」概念の幅広い普及

- (1)地域の助産師等によるライフデザインセミナー
- (2)助産師やコーディネーターによる周知啓発
- (3)子どもの命を大切にする周知啓発事業

※ 健康課の事業と連携して取り組む。

5歳児健康診査整備事業

新規

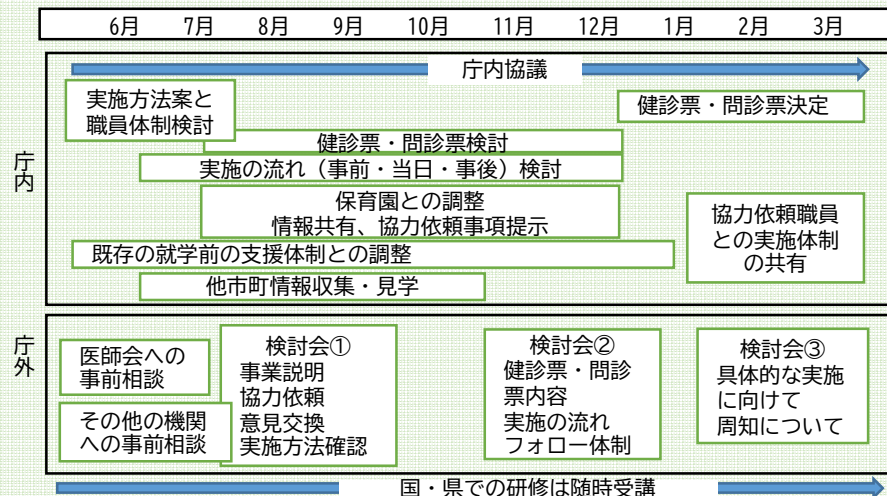
【事業の目的】

母子保健法第13条に基づく5歳児健康診査の、令和9年度からの導入に向けて、庁内外の関係機関との検討会を実施し、円滑な導入を目指す。

【実施内容】

既存の就学支援と連動して検討する。

- 庁内関係機関との検討会
子育て支援課、こども育成相談センター、学校指導課
子育て応援ステーション
- 庁外関係機関との検討会
加賀市医師会、保育園・こども園、南加賀保健福祉センター
- 先行市町への見学、情報収集
- 研修会（県）
- 周知の検討（保護者、関係機関）



加賀市児童発達支援体制検討専門部会の進捗

■加賀市児童発達支援検討専門部会 委員名簿

専門部会委員任期：令和8年3月30日～令和9年3月31日

	区分	No.	団体名等	役職	氏名	備考
専門部会	学識経験者	1	金沢大学 人間社会研究域	教授	吉村 優子	障害者分科会
	当事者団体 家族会	2	くれよんめいと～発達障がい者当事者とペア レントメンターの会～	広報情報職	安田 祥子	障害者分科会
	医療 福祉	3	石川県南加賀保健福祉センター	所長	沼田 直子（※会長）	健康福祉審議会
		4	加賀市医師会 医療的ケア児支援連絡会	会長 委員	上棚 直人	健康福祉審議会
		5	社会福祉法人長久福祉会	くらし・しごと応援セン ターはるかぜ施設長	岩尾 貴	障害者分科会
		6	加賀市社会福祉法人立保育園連合会	清和保育園園長	小坂 幸子	こども分科会
	教育	7	石川県立錦城特別支援学校	校長	橋高 陽子	障害者分科会
		8	動橋小学校	校長	野田 美由紀	

■ 開催実績

- ・3/30（月）第1回専門部会
- ・4/21（火）第1回ワーキング（当事者団体および家族会）
- ・4/23（木）第1回ワーキング（事業所等支援者、じりつ支援協議会）
- ・6/3（水）第2回ワーキング 他自治体視察（福井市）

■ 今後のスケジュール（予定）

- ・6月中旬 第3回ワーキンググループ（全体会、機能の整理）
- ・6月下旬 第2回専門部会（体制のあり方、機能の整理）
- ・7月 第3回専門部会（とりまとめ）
- ・7～8月 第1回健康福祉審議会障害者分科会（専門部会からの報告・承認）
- 第2回健康福祉審議会こども分科会（専門部会からの報告・承認）
- 市長答申